

戦争思想 2015

西谷修

戦争の現在を問う

2

笠井潔

シャルリ・エブド事件と世界内戦

26

鵜飼哲

「戦士社会」と「積極的平和主義」

——アルジェリアから〈戦争の現在〉を考える

40

片山杜秀

むかし間違えたことと、いま間違えているかもしれないこと

——アメリカと中国のはざままで

52

加藤直樹

「昭和十九年」を生きる

66

白井聡

永続敗戦レジームの純化と危機

91

田島正樹

安全保障をめぐる弁証法的政治

115

小泉義之

戦争と平和と人道の共犯

127

山城むつみ

前線から遠く離れて——ヤン・パトチカを楕円化する

137

橋本努

テロリズムとの戦争

148

三浦瑠麗

戦争と平和と日本人

160

榎木野衣

絵画における「近代の超克」と「戦後レジームからの脱却」

——成田亨と戦争画

174

若松英輔

魔王と霊性——鈴木大拙の戦中と戦後

191

長濱一真

居心地の悪さ

——イーストウッド『アメリカン・スナイパー』試論

208